

もおか  
歴史散歩  
第13回

シリーズ  
『真岡の人物ゆかりの地を訪ねる①』  
しょうどうしょうにん  
勝道上人  
天平7年(735)～弘仁8年(817)

日光開山で知られる勝道上人の誕生の地は、現在の仏生寺(南高岡259番地)境内と伝えられ、近くには上人誕生時に使ったとされる湧水の跡(勝道上人産水の池)がある。仏生寺境内は、日光開山勝道上人誕生地として、県指定史跡となっている。山門の両脇には樹齢800年以上といわれる県指定天然記念物のケヤキ(写真上)が並び、境内の森厳な雰囲気を感じ出している。また上人産水の池の近くには、市指定天然記念物のエドヒガン(写真下)があり、ひと足早い桜は道行く人の目をくぎ付けている。



勝道上人は幼名を藤糸丸と称し、神童の誉れ高く、幼時より仏道を信じ、下野薬師寺で出家し、勝道と称した。上人33歳の時に日光開山を志し、難行苦行の末に男体山の山頂を極めた。この間に、日光二荒山神社や輪王寺等を勧請している。



問い合わせ  
文化課 ☎ 83・7731 FAX 83・4070

社会福祉協議会だより

2月に寄付をしてくださった方々(敬称略)ありがとうございました。

善意銀行  
金銭預託  
匿名.....5,222円

わたのみ基金  
亀山ゴルフ会.....150,580円  
JA あぐりっ娘NANA.....3,250円



【申し込み・問い合わせ】  
社会福祉協議会 ☎ 82・8844 FAX82・5516

24時間受付・年中無休・無料の電話健康相談  
「もおか健康相談24」 ☎ 0120・335・140  
携帯電話・IP電話からは ☎ 03・3839・5212 通話料のみお客さま負担  
体の症状・治療や育児、介護、ストレスなどの健康相談サービス

館野正子(65)	亀山1/31	市村悦子(60)	田島2/8	新山タマ(92)	鹿2/17
藤田サク(80)	下籠谷1/31	清宮信夫(61)	西田井2/9	小川キヨ(87)	西田井2/20
木村昭雄(86)	程島1/31	渡邊好子(88)	荒町三2/10	古口昭雄(80)	勝瓜2/20
菊地よし子(79)	亀山2/1	螺良勤(88)	八条2/10	細木平八(89)	久下田2/20
木村嘉久子(74)	寺内2/1	大塚政雄(84)	飯貝2/10	中山芳一(90)	大根田2/20
亀倉ツヤ子(80)	小林2/2	渡邊登代(98)	古山2/10	高橋信行(78)	高田2/21
関口シツエ(87)	西田井2/2	青柳長司(46)	田町2/11	佐藤とき(90)	程島2/22
中里フク(89)	中2/3	関口セツ子(75)	荒町二2/11	仙波セツ(83)	寺内2/23
中野不二雄(74)	並木町二2/4	橋本満榮(90)	上大沼2/11	山崎秀男(69)	久下田西七2/23
滝田榮(91)	古山2/4	廣澤進(65)	東沼2/12	石川照明(79)	中郷2/24
土濃塚史郎(66)	下籠谷2/5	渡邊仲三(95)	東沼2/12	菅谷一男(85)	下田2/24
水越美鈴(92)	石島2/5	那須トキ(95)	古倉一2/14	野澤誠子(92)	久下大曾2/24
深谷堯治(87)	久下田西2/6	加藤和子(57)	熊根本2/15	粕谷一夫(81)	沖水2/25
飯山幸一郎(50)	物井2/6	服部スエ(87)	原町2/15	國母輝男(82)	横田2/25
境トシ子(84)	大和田2/6	板垣サト(87)	三谷2/15	秋山トシ(98)	清水2/25
蕎麦田信行(68)	大谷台町2/7	豊田キヨ(94)	大谷台町2/16	橋本寛(88)	横田2/26
水沼フミ(89)	堀内2/7	松下良輔(89)	小林2/16	小野初子(88)	台中2/27
松本八重子(78)	田本2/8	竹澤暁夫(93)	さくら二2/16	直井豊雄(95)	堀込2/16
杉本タキ(76)	根本2/8	山田幸子(65)	堀込2/16		
賀川庄一(60)	東沼2/8	石附邦夫(47)			

あの日  
あのころ

第336回  
てつか ひろし  
手塚 弘さん  
(熊倉三丁目在住・85歳)



電気と安全に届ける責任を感じて：



▲牛久の研修所の前で、同僚たちと。(前列一番右が手塚さん)

私は、大内地区の原町出身です。家が農家だったので、子どもの頃は畑仕事を手伝いました。薬師寺(現在の下野市)にあった畜産場で、家畜の世話などを学びましたが、終戦後は電気の時代が来ると考え、知り合いの電気屋さんに頼み、関電工に就職しました。そこでは、電気工事に關することをたくさん教えてもらいました。厳しい先輩ばかりで、技術は見て、体

で覚えろと指導されました。昇給試験や資格試験の前には、昼間の仕事が終わってから、学科や実技の対策のため先輩に指導をお願いし、一緒に試験を受ける同僚と、夜遅くまで鍛錬を積みました。そのおかげもあって、電気工事士などの資格を取ることができ、その後の仕事に役立ちました。資格を取った後も研修の機会も多く、茨城県の牛久にある研修所に何度も行きました。昇級や新たな役職に就く時に、それぞれの役割に応じた研修が用意されていて、一週間泊まり込みで、技術をたっぷりたたき込まれました。電気工事では、住宅の電気配線も多く手掛けました。外の電柱から電線を敷地内に引き込み、住宅内の配線に接続することが、間違えやすいところでした。もし、

つなぎ方を間違えてしまうと、高電圧の電気が流れ、お客さんの家電を壊してしまうので、自分が施工する時も部下がやる時も特に気を付けるようにしていました。真岡地区の営業所には、茂木や烏山までの広い範囲が担当だったこともあり、仕事は忙しかつたです。台風が来て電線が切れたり、雷や事故で停電が発生すると、昼夜問わず、益も正月もなく、すぐに修理に駆けつけなければなりません。電線の工事などで、周辺一帯がしばらく停電する時には、住民や飲食店の方から「まだ復旧しませんか」ということをよく聞かれました。電気工事の仕事はつらいこともありましたが、こうした経験から、日々の生活に電気はなくてはならないものと実感し、人のため、安全で確実に電気を届けることに責任を感じながら、40年勤め上げることができました。

【事例】  
子どもに初めてスマートフォンを持たせる際に、何か気を付けることはありますか。  
入学や進級を機に、子どもにスマートフォンを持たせることを検討する親御さんは多いようです。スマートフォンは携帯電話というより、電話機能が付いた「超小型パソコン」です。「アプリ」を自由にインストールすることにより、さまざまな機能が追加されます。高機能で便利な反面、使い方によっては思わぬトラブルに巻き込まれる場合もあります。スマートフォンを安全に利用するためには、紛失・盗難対策や他人による不正利用禁止対策など、従来の携帯電話と同様の対策の他に、基本ソフト(OS)のアップデートやウイルス対策のソフト利用といったセ

消費生活センターメモ  
シリーズ382

子どもにスマートフォンを持たせる前に  
セキュリティ対策、フィルタリング機能を正しく設定する対策などが必要です。また、無料通話アプリやネット上で情報発信ができるサービス(SNS)、オンラインゲームなどをきっかけに、トラブルになったり、詐欺に遭うこともあります。スマートフォンを使う際は、「怪しいサイトにはアクセスしない」「個人情報や写真や動画を載せない」「誹謗中傷を書き込まない」など、親子でルールを作っておきましょう。購入の際は、必ず販売店に18歳未満であることを伝え、フィルタリングや機能制限などの利用環境を整えましょう。

ご相談は、消費生活センター(青年女性会館内) 毎週月～金曜日 9:00～12:00、13:00～16:00 ハナシテナヤミナシ ☎ 84・7830 相談料無料